

# りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる  
障害福祉事業部りとるらいふ  
発行日：2021年12月

2021年も残すところあとわずかとなりました。12月日はあっという間に過ぎていってしまいますね...皆様にとって今年1年はどんな年だったでしょうか?1つでもHAPPYな出来事が思い出されていることを願います。

さて!今年ラストの通信12月号トップ記事では、11月19日~23日に無印良品直江津店で開催された【ぼくらのアール・ブリュット ここでききる ここで作る】の展示会の様子について通信編集委員が取材・撮影させて頂いた内容をお届けいたします。ぼくらのアール・ブリュット実行委員の方へのインタビューも必見!その他記事も豊富な内容となっていますので、是非ご覧ください。



## ぼくらのアール・ブリュット ここでききる ここで作る

りとるらいふご利用者の作品も展示されたぼくらのアール・ブリュット展に今回お邪魔させて頂き、同実行委員お二方へのインタビュー取材、作品の撮影をさせて頂きました。



取材を受けて下さったぼくらのアールブリュット実行委員のお二方(左・馬場さん/右・石塚さん)



Q 今回のぼくらのアール・ブリュットここでききる ここで作るに関しまして、今までのぼくらのアールブリュット展示会と異なる点があれば教えてください。

→今までの展示会に足を運んで下さっていた方は、関係者や知り合いの方が多かったです。今回、無印良品さんで開催させて頂いて(初めて商業施設での展示)今までアールブリュットについて知らなかった方だったり、たまたま足を運んで下さった方だったりが多くいて...。そういった方たちから、「素晴らしいですね。」と声を掛けてもらえたことはとても嬉しかったですね。(馬場さん)

Q ぼくらのアールブリュットは作家、その家族、施設職員が実行委員会形式で企画・運営をされているとお聞きました。実行委員としての思いと、ご家族としての思いについて教えて頂けたらと思います。(お二人は作家ご家族)

→実行委員会としては去年あたりまではNASC(※①)のバックアップを大きく受けていました。けれど、この活動を長く続けていくために自主性を持ってやっていこう、ということになって。自分たちでやっていくのは大変だけど励みになっています。家族としては、作品を見てもらって「あ、こういう活動もあるのか。」と知ってもらい声を掛けてもらう中で自分も子どもも仲間が増えていく、つながりができていった実感があります。あと、今までは子どもが自分の作品が家にないと怒っていたけれど、展示回数を重ねるにつれ折り合いをつけてくれたのか、全ては持って帰らずとも良くなったみたいで、子どもの成長を感じました(笑)(石塚さん) ※①新潟県アール・ブリュット・サポート・センターNASC

Q りとるらいふ通信の読者の方に向けてメッセージがあればよろしくお願いたします。

→来年以降、ぼくらのアール・ブリュットを開催した際には足を運んでいただけると嬉しいです!【馬場さん】



# 「ルーエッセイ」



## 「大掃除に役立つアイテム」

10月からお世話になっております水澤優子です。「大掃除に役立つアイテム」とお題を頂きましたが、自宅ではあまり掃除をしない人です。築25年の我が家が出来た頃は専業主婦だったこともあり、大掃除?らしきことはしていたように思います。その時に役立ったのが高い所のほこりやくもの巣を取る為にほうきの先にストッキングをかぶせて使っていました。塗り壁だった古い家の時も使いましたが、塗り壁だったため余計に張り付いてしまいました。更に掃除機を出し、吸い取る事になり二度手間でした。

福祉の仕事をするようになってからは年末の大掃除は主人任せになり、ほぼ私は手を出すことなく今に至っています。

ふぁみりあ 水澤 優子



次回のテーマ「成人の日について」

## 「今年一番の思い出」

今年に入り車を買替えました。初めての大きな買い物にドキドキ!

嬉しい♪だけではなく、大好きだった車を手放す寂しさが一番欲しかった車に手が届かなかった悔しさと、様々な思いが詰まった車の購入となりました。最初は物足りなさを感じていましたが、段々と好きを見つけられるようになりました。まだまだ遠くへのお出かけは難しいですが、落ち着いたらこの車でたくさんお出かけして思い出を作りたいと思っています。

にこ 丸山 智美



次回テーマ「冬の楽しみは?」



# ふぁみりあ近況報告

秋も深まったお天気の良い日に「秋を見つけに」大湯水と森公園に行って、赤や黄色に染まった木の葉の道を散策しながら楽しいひと時を過ごしてきました。

そして季節はもう12月!12月と言えばクリスマス♡利用者様も待ちに待った楽しい行事。ふぁみりあも12/23に会を予定して、その日に向けて製作に取り組んでいる所です。



# 各部門活動報告



午後の活動として「万華鏡づくり」を行いました。カラーセロハンを貼ったり、筒に固定したり…細かい作業に皆さま「難しい！」と苦戦されていましたが、そんな時はご利用者様同士で協力し合う姿が見られ、万華鏡を完成させることができました。覗いてみると、カラフルな光がとても綺麗でした！

とも



先日行われたきらの防火訓練についてご紹介します。今回は一階のキッチンでの出火を想定し、玄関側の部屋（棟）で活動している皆さんは正面玄関から、キッチンより奥の部屋（棟）で活動している皆さんはベランダの窓から外のビニールハウスの前に避難しました。皆さん慌てることなく、落ち着いて避難することが出来ました😊

きら



秋のららん公園では、本物の落ち葉のプールの中に入って、カサカサした音や感触を楽しみながら木の实探しに笑顔（^\_^）が見られたり、段ボール迷路のトンネルを何度もぐり抜けたり、焼いもを頬張りながら「あま〜い♡」と声を上げて楽しみました。

ららん



今月はどんぐりを使って工作♪こま、ストラップ、置物から作りたい物を選び製作に取り組みました。「これ貼ったらどうかな?」「ミニオン作る!」など様々なアイデアを聞くことができました。完成した作品を「可愛いね」「嬉しい」と笑顔で眺めていました!

にこ



いらっしゃいませ! 駄菓子屋『もーと商店』の開店です! 手作りのカゴを手に持ち、駄菓子を選ぶ子ども達の真剣なまなざし。お会計では、店員さんにしっかりとお金を払うことができました。中には「僕もやりたい!」とはっぴを着てお店のお手伝いしてくれる子ども達も…『もーと商店』大盛況でした😊

もーと



## 「私が今、想うこと」



りとりらいふ 看護 主任 石塚香菜

こんにちは!りとりらいふ看護師の石塚です。3月に書いたぶりのコラム依頼…書くエピソードがありません(泣)と思いつつ…

私は、正看護師の資格を取得し、総合病院に従事してきました。しかし、結婚・出産・子育ての中で夜勤などの勤務が難しい状況となり退職しました。しばらく仕事をせずに過ごしていたところ、こちらの久保課長と出会い、りとりらいふでお世話になることになりました。(『お話だけでも…』と声をかけていただき、お伺いしたら当時の副所長と事務長のお二人がいらっしやり、びっくりしたことを今でも覚えています(笑))

りとりらいふで働きはじめ、病院勤務しかしたことがなかった私にとっては、病院での看護とは大きく異なり、驚きと戸惑いの連続でした。(今もあるのですが…)『福祉』の中での看護師の役割というのでしょうか。『病院』では医師が判断をして看護師が動くという形ですが、福祉の現場ではそうではないですね。ですから、福祉の現場が新鮮であり、かつ戸惑いもあります。

また、利用者様にとってここは『生活の場』であるということです。『病院』は病気を治すところですが、ここでは『日常生活の場』なのです。何か起きたときに、私たちはリスクに視点がいきましがちなのですが、ここは『在宅』。日常生活の『制限』するのではなく、その中でいかに過ごせるのかを考えなければならないと思っています。

今のりとりらいふのご利用者様は比較的若い方々が多く、医療とのつながりが必要である方もいれば、健康体の方もいます。しかし、今後年齢が上がっていき健康管理をしていかなければならない時はくると思います。その時に自分たちがどう関わっていけるのか・どう関わっていくべきかを今から考えていかなければならないと思っています。そのためにはご利用者様との関わりはもちろんですが、ご家族・支援スタッフとのコミュニケーションを密にとる必要があると思っています。そしてご利用者様やご家族の皆様の想いを確認しながら、お手伝いできたらと思っています。そんなことを最近よく考えていました。

看護師だけの視点にとどまらずに色々な側面から考えることを忘れず、ご利用者様やご家族の皆様の気持ちを大切にしながら、安心・安全はもちろんですが、QOLを維持しながらも皆様が健康で今の生活を長く送れるようにお手伝いさせていただきたいと思っています。



## 嘔吐物処理演習



今、感染症といえば「新型コロナウイルス」が脳裏によぎりますが、これからの季節はノロウイルス・インフルエンザ等の感染症も流行しやすい時期です。先日嘔吐物処理演習を実施しました。感染を拡げないように処理をすることが重要である、模擬の嘔吐物使用し処理を行い、実際の嘔吐物処理の対応の大切さや難しさを実感しました。

看護師 石塚 香菜